

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2016 年第 34 週
(8/22～8/28)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

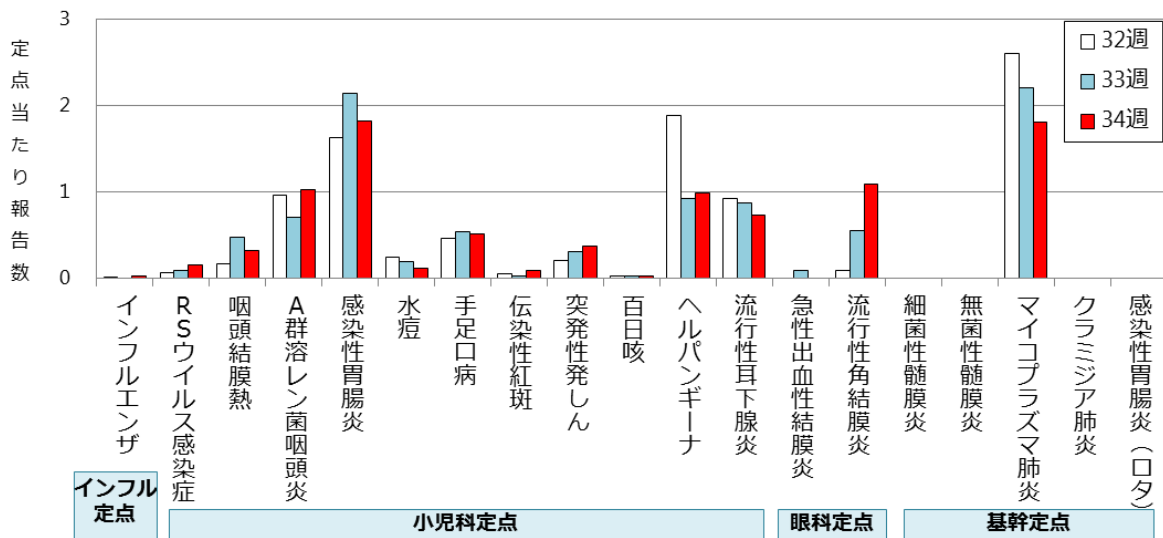
- ◇ 流行性角結膜炎の患者数が多くなっています。
- ◇ マイコプラズマ肺炎の報告が全国的に増えています。 →トピックス

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	なし	—
注意報レベル	なし	—

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 9 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例（O157:1 例、O26:1 例）
- 4 類感染症：レジオネラ症 1 例
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例、梅毒 1 例

● 2016 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	292 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	32 例	
4 類感染症	E 型肝炎	1 例	デング熱 2 例
	A 型肝炎	1 例	マラリア 1 例
	つつが虫病	1 例	レジオネラ症 23 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	6 例	侵襲性髄膜炎菌感染症 3 例
	ウイルス性肝炎	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 34 例
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7 例	水痘（入院例に限る） 5 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	梅毒 19 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	播種性クリプトコックス症 3 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	風しん 2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報（IDWR） <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《マイコプラズマ肺炎》

◆ 全国的に患者数が増加しています

マイコプラズマ肺炎は、前回2011～12年に流行があった以降、昨年半ばまで大きな増加はみられていませんでしたが、昨年後半から、全国的に患者報告数が増加しています。

県内でも、全国と同様に、昨年後半から患者報告数が増加しており、全国平均よりきわめて高いレベルで推移しています。

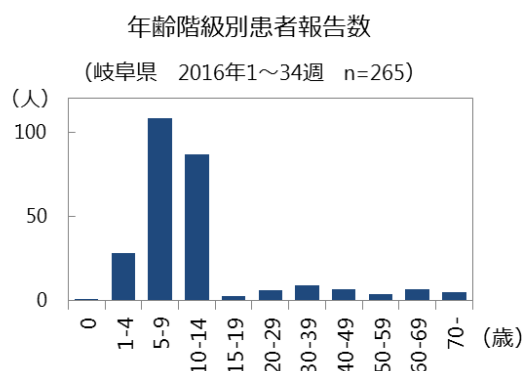
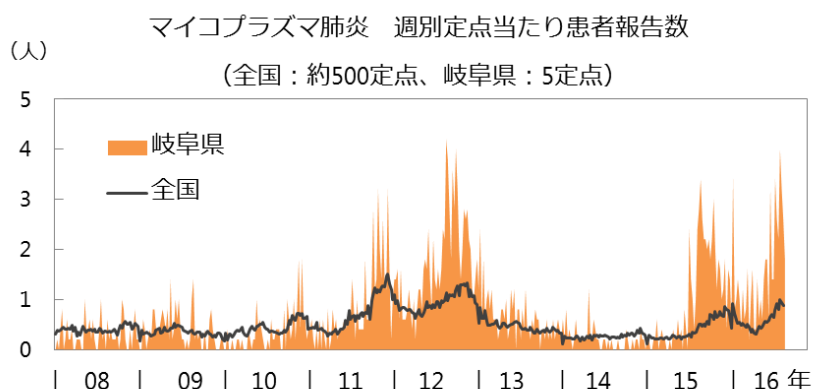
今年に入り一旦減少したものの、5月以降は再び増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

また、患者の年齢は、5～14歳の学童期で多く報告されています。

◆ 手洗いなど一般的な予防対策の励行を

マイコプラズマ肺炎は、飛沫感染と接触感染により伝播しますが、感染の成立には濃厚接触が必要と考えられています。家庭内や保育所、学校などで、患者と身近に接することで感染が拡大する可能性が高いとされています。

予防方法としては、手洗いやうがいなど一般的な感染予防対策を徹底し、患者との濃厚な接触を避けることが重要です。



★ マイコプラズマ肺炎とは

肺炎マイコプラズマによる呼吸器感染症です。潜伏期間は2～3週間と長く、発熱、全身倦怠感、頭痛、乾性の咳などの症状が出ます。咳は遅れて始まることもあり、解熱後3～4週間持続します。肺炎を発症しても比較的元気で一般状態も悪くないことが多いとされますが、重症肺炎を起こすこともあり、また、中耳炎や髄膜炎などの合併症を起こすこともあります。

★ 感染症法における取扱い

マイコプラズマ肺炎は、感染症法において5類感染症全数把握対象疾患に定められており、全国約500か所(岐阜県5か所)の基幹定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>